

看護小規模多機能コープ五日市

2024年度第3回 運営推進会議議事録

参加者：五日市観音社会福祉協議会会長 新谷様、五日市観音地区民生委員児童委員 北村様、城山・五日市観音地域包括支援センター 佐々木様、広島中央保健 組合員 小松様、訪問看護ステーションコープ五日市所長 浴長、看護小規模多機能コープ五日市ケアマネジャー 野田、看護小規模多機能コープ五日市 主任代行 和田

1. 事業運営の基本方針や理念

利用者1人ひとりの人格を尊重し、利用者の心身の状況、希望、その置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス（介護、看護）、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ、生協10の基本ケアの（自立支援）の考え方で支援します。また地域への参加や住民との交流を図り、地域での暮らしを支援します。

2. 利用状況（2024/9/1~10/28 現在）

・ 介護度

	介1	介2	介3	介4	介5	計	平均介護度	新規	中止
9月	6名	2名	6名	3名	3名	20名	2.7	4件	0件
10月	6名	2名	7名	3名	3名	21名	2.7	1件	1件

・ 年齢

60歳~	65歳~	70歳~	75歳~	80歳~	85歳~	90歳~	95歳~
0名	1名	1名	1名	5名	6名	5名	2名

・ 地域

佐伯区 18名（美鈴が丘、利松、八幡、千同、坪井、城山、三筋、三宅、五日市中央、五日市、新宮苑、楽々園）

西区 3名（井口台、井口鈴が台）

3. 新規受け入れ状況

検討中の3件について説明した。

4. 事故・苦情の発生状況

事故：物品の紛失

看多機で洗濯した際ズボンが紛失した。

5. 日常のサービス内容

・ 通い：8名~15名/1日

- ・ 訪問：3件～21件/1日
訪問介護（服薬確認、掃除、洗濯、買い物、食事確保、外出準備・片づけなど）
訪問看護、訪問リハビリ
- ・ 宿泊：2名～7名/1日（1泊～5泊）
*退院直後や老健退所後など不安定な方には、1～2週間連泊していただき、体調が安定したら、通いサービスや訪問サービスを組み合わせて在宅復帰につなげています。

6. 利用者の健康対策に関する取り組み

生協10の基本ケアに基づいた自立支援のケアを行っています。

- ・ レクリエーション（歌、ゲームなど）、個別リハビリ
- ・ 毎日昼食前に、リハビリ職員による口腔体操（20分程度）

セルフケアとして、テーブルにポットを置いて自分でお茶を入れていただいている。お茶の減り具合が増えている。今までは職員が声をかけていたので遠慮していたのかもしれない。利用者同士のコミュニケーションも増えた。

→ 大規模ではできない小規模の特性を生かした、個別ケアができていることが伝わった。

7. ボランティアの受け入れ状況や行事参加など地域連携への取り組み

- ・ 月1回お話しボランティア受け入れ（いきいきポイント対象）
- ・ サロン活動に参加（うたごえ喫茶、映画鑑賞会、健康マージャンなど）
- ・ 広報活動
- ・ パンプキン通信発行

パンプキン通信を紹介した。

8. 事例紹介

男性 79歳 要介護度5 妻と2人暮らし

既往歴：36歳 大腸がん開腹手術

平成23年 66歳 イレウス 保存的治療

平成29年 72歳 イレウス イレウス管

令和5年 77歳 レビー小体型認知症

利用までの経過

自宅で妻と2人で自立して生活を送っていた。R4年秋ごろより記憶力低下等の認知症状出現し、徐々に進行することで認識力・理解力低下の症状が出現する。妻に対して暴言・暴力を振るうようになり、R5年2月、X病院へ入院、内服薬治療により興奮や暴言・暴力の症状はなくなったが、在宅復帰が困難となり、有料老人施設へ入所された。妻の在宅復帰の強い希望があり、有料老人施設を退所し、R6年8月より看護小規模多機能コープ五日市の利用となった。

利用中の経過

全身の拘縮、両踵、大腸骨の褥瘡があり、起居動作、移乗、座位保持が困難であったが、できるだけ座って、他の利用者といっしょにデイルームで過ごしていただいた。当初は介助の際、痛みから職員に対して暴言・暴力があったが、毎日座ることで、拘縮が軽減され、可動域が広くなり、痛みも軽減

され、暴言や暴力はほとんどなくなった。褥瘡も毎日のシャワー浴と処置で快方へ向かっている。在宅復帰へ向けて、妻へおむつ交換の指導、移乗は体格が大きく一人介助が困難なためリフトを導入することとし、操作の指導を行った。10/29、1年半ぶりに在宅復帰となった。

事例の意見・感想

在宅復帰後のサービスの利用について説明した。

病気になる前からご夫婦関係がよかったからこそ妻の献身的な介護ができていると感じた。

職員が利用者を理解して支援していることが伝わった。

とてもいい事例だと思うが、うまくいかないことも多いはず。うまくいかなかった事例についても知りたい。→次回紹介することとした。

9. その他

サロン活動（子ども食堂）について、地域の方へ助言をいただいた。

次回 2024 年 12 月 24 日（火） 13：30～14：00